

■セミナーの形式

一言でセミナーといってもさまざまな形式があります。近年は、従来の座って学ぶスタイルから、自己体験型のセミナーやオンラインを介したセミナーが増えてきています。

● 通常の座学スタイル



セミナーと聞いて思い浮かべるのは、椅子に座って聴講する座学のスタイルです。座学のスタイルでも、会場の規模やスペースによって机がある場合とない場合があります。学会の学術集会の会場では、机がないのが一般的です。

● 食事もできて一石二鳥?! ランチョンセミナー



お弁当などを食べながら聴講する形式のセミナーをランチョンセミナーといいます。食事をしながらなので、やや集中力が欠け、メモを取ることは難しいですが、セミナー会場はホテルやコンベンションセンターを利用することが多く、周辺に飲食店が少なかったり、移動の手間が省けることから、集客力が高いセミナー形式です。お弁当は協賛企業による無料提供であることが一般的であるため、セミナーの内容は協賛企業に関連するサービスや製品に寄った内容が多くみられます。

● みんなでワイワイ ワークショップセミナー



聴講するだけでなく、自身が参加・体験するスタイルのセミナーをワークショップセミナーといいます。講演テーマに則した課題について、参加者同士で数名のグループになって議論したり、協同で作業したりします。参加者同士のコミュニケーションあるいは講演者とのコミュニケーションが生まれやすく、他の参加者の意見や考えを知ることによって多角的な思考を養えるというメリットがあります。

● 自宅で楽々、ウェビナー



ウェビナーとはウェブとセミナーを掛け合わせた造語で、インターネット上で視聴できるセミナーを表します。定員に上限がなくなるため小規模の会場でも実施できるほか、視聴者の登録管理によって視聴ログデータの解析が可能になるといった主催者側のメリットもあります。ただし、関連資料を配布できないなど、直接的な営業接点としては弱いというデメリットもあります。

ウェビナーには、リアルタイム配信と録画配信があります。近年は、通話やチャットを活用したリアルタイム配信が普及し、双方向の音声や画像を送ることが可能となり、実際の講演会場まで足を運ばなくとも質疑応答ができます。リアルタイム配信がライブ配信であるのに対し、録画配信は収録・編集された動画を視聴する方法です。リアルタイム配信が開催日時に視聴しなければならないのに対し、録画配信では配信期間中であれば好きな時間に視聴することができ、さらに途中で停止することもできるというメリットがあります。

■セミナー参加時の服装

学会やセミナー受講時の服装はシーンによってさまざまです。人の医療系の学会ではスーツで参加する人がほとんどですが、ペット・獣医業界のセミナーではそのような習慣は定着していません。では、どのような服装で参加したらいいのでしょうか？ 以下に、講演内容とシーンに合わせた服装例をご紹介します。

● シンポジウム・症例検討・研究発表系

シンポジウムや症例検討会などを一堂に会する学会の学術集会などでは、ホテルやホールを会場として使用することが多いことから、スーツでの参加が無難です。これらの会場ではドレスコードを設けている場合があるため、主催者側のアナウンスに気を付けましょう。

また、質疑応答などにおける発言の場も想定されることから、講演者に失礼のない服装を心掛けるとよいでしょう。

● 単独レクチャー系

単独で実施されるセミナーは、貸会議室などを会場として使用することが多いため、カジュアルな服装での参加が一般的です。学術集会などとは違い、単独のセミナーでは質疑応答の時間以外にも講演者に接触する機会が多いこともありますし、一般的には主催者側への事前参加申込によって個人が特定されるため、カジュアルすぎる服装は避け、身だしなみにはある程度意識したほうがよいでしょう。

● 実演・ワークショップ系

実際の犬・猫や機器を使用するワークショップ型のセミナーでは、服が汚れる可能性があるため、カジュアルな服装が適しています。とくにトリミングのデモンストレーションでは、カットした被毛が舞うので、よりラフな服装のほうがよいかもしれません。

セミナーテーマに沿った内容を参加者同士のグループ内で討論するプレスト（ブレインストーミング）型のワークショップセミナーも、スーツスタイルよりもカジュアルなほうが、初対面であっても互いの意見を引き出しやすいことがあります。



● 質疑応答のマナー

通常のセミナーでは講演の合間あるいは終了前に、質疑応答の時間が設けられています。質問者は自身の所属（勤務先）と名前を名乗ることがマナーとなっています。また、限られた時間のなかで多くの参加者が質問できるようにするため、質問の内容をあらかじめ整理し、1度の質問は1～2問となるように心掛けましょう。